

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

1-1A 特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル
(健診・保健指導機関等→医療保険者)

仕様説明書

Version 4

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	文書項目	1
3.	XML仕様	2
3.1	交換用基本情報 (index)	4
3.2	作成年月日	6
3.3	オブジェクト識別子	6
4.	コード表	7
5.	OID仕様	8
6.	サンプルXML	8

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

2008.4.3 V1.41 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2008年4月3日	1. 4 1	厚労省通知と連携して公表。
2009年3月30日	2	他の仕様説明書に合わせてバージョン番号を2に統一。 仕様上の修正はないが、厚労省通知を引用していることを明示。 1.1 説明を適正化。 3 説明を補足。
2017年3月31日	3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診情報／特定保健指導情報交換用共通 XML スキーマ (co08_V08.xsd)の「詳細な健診項目コード(別表 8)」「保健指導実施時点コード(別表 11)」「保健指導区分コード(別表 12)」に新規コードを追加 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「2」から「3」に修正 ・1.2 参考資料の資料名を修正
2020年3月31日	3. 1	<p><本仕様書の適用範囲> オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、加入者を特定するための被保険者証等枝番の項目追加と特定健診情報等の閲覧用ファイルの新規追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正</p> <p><被保険者証等枝番の追加に伴う修正></p> <p>7. XML スキーマ</p> <p><閲覧用ファイル追加に伴う修正></p> <p>3.1 交換用基本情報(index)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種別コード:10 の場合の説明削除 ・予備用種別コードの記載変更 ・表 1 交換用基本情報 XML 仕様の 4 receiver に関する説明変更 ・表 5 交換用基本情報 XML 仕様の 4 に送付先機関が出現しない条件の記載変更 <p>4. コード表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 8 種別コード (12:変更、14~20:予備追加) ・表 9 実施区分コード (3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加) <p>7. XML スキーマ</p> <p><総ファイル数の拡大に伴う修正></p> <p>3.1 交換用基本情報(index)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 5 交換用基本情報 XML 仕様の 6.1 に記録できる総ファイル数の桁数を 6 桁から 8 桁に変更 ・7. XML スキーマ <p>■XML仕様上に関係しない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「3」から「3.1」に変更 ・各種サンプル XML の日付変更
2023年3月31日	4	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種別コード、実施区分コードの名称変更に合わせて表 8、表 9 を

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

		<p>修正</p> <ul style="list-style-type: none">XML 名前空間を変更 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html) <p>■XML 仕様上に関係しない修正</p> <ul style="list-style-type: none">本仕様書のファイル名を変更バージョンを「3.1」から「4」に変更1.1 目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除1.2 参考資料のリンクを最新のリンクに修正7. XML スキーマの記載を削除各種サンプルの日付変更その他既存誤記及び見栄え修正
--	--	--

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

交換用基本情報ファイル仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本書は、特定健診データの電子的交換に必要なファイルのうち、特定健診情報、及び、特定保健指導情報の交換用基本情報ファイルのXML仕様を定めたものである。

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

[1] 厚生労働省, 「標準的な健診・保健指導プログラム(改定版)」

[2] 厚生労働省, 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

[3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.

[4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.

[5] 総務省, 全国地方公共団体コード, <https://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html>

※[1]、[2]については、厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

2. 文書項目

特定健診情報、特定保健指導情報の交換用基本情報ファイルの項目を表1に示す。

表1 交換用基本情報ファイル項目一覧

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
1	特定健診/特定保健指導交換用情報	種別	結果送付・返戻送付等の別を記録
2		送付元機関	特定健診機関番号、特定保健指導機関番号、代行機関番号又は保険者番号を記録
3		送付先機関	特定健診機関番号、特定保健指導機関番号、代行機関番号又は保険者番号を記録
4		作成年月日	ファイルの作成年月日(西暦)を記録
5		実施区分	特定健診:「1」を記録。特定保健指導:「2」を記録。
6		総ファイル数	このアーカイブに含まれる特定健診情報ファイル・特定保健指導情報ファイルの総ファイル数を記録。

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

3. XML 仕様

XML 設計における基本方針として、できる限り単純な XML とするが、日付や識別子などのデータ型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。

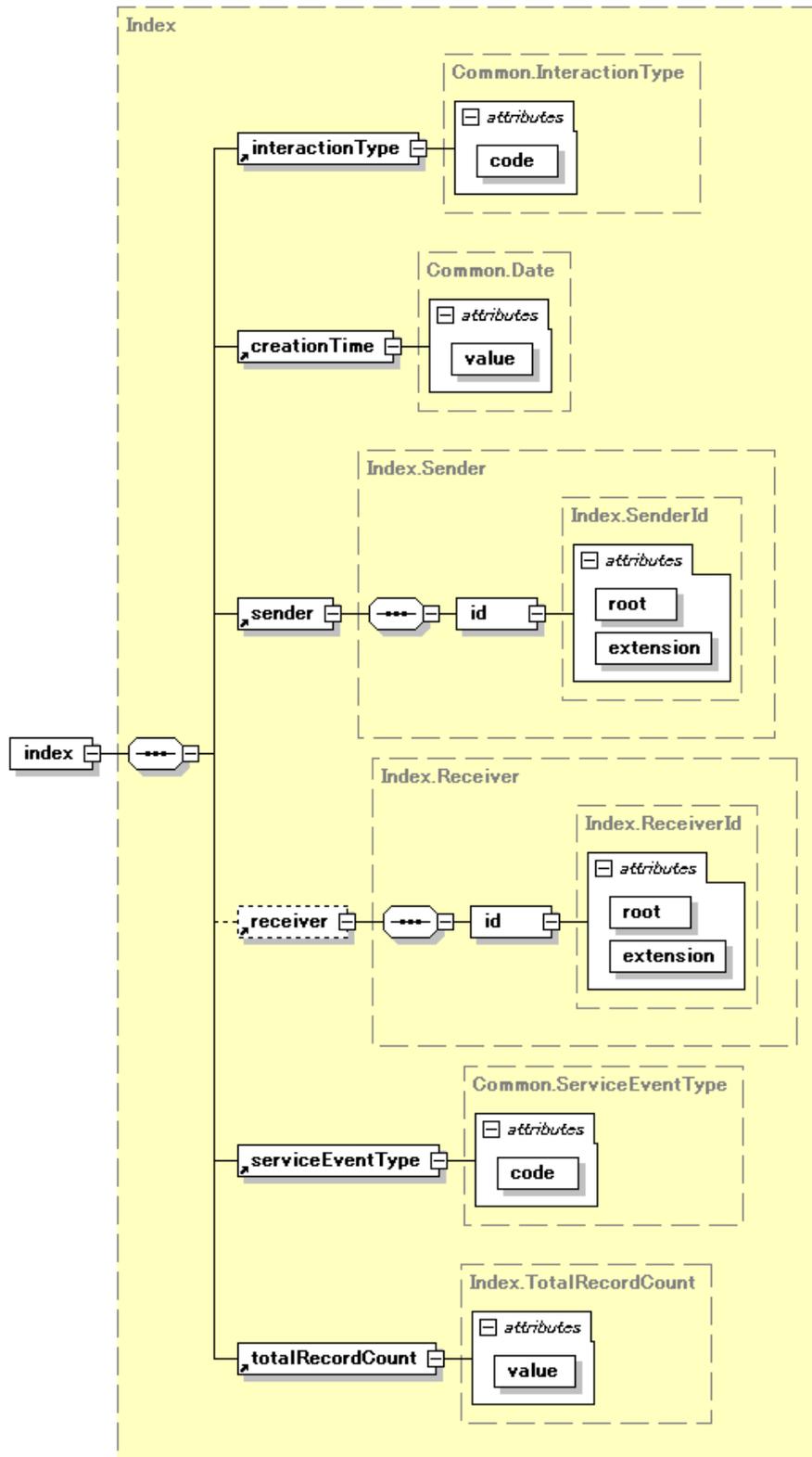
最小多重度が 0 である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

ここで掲げる表は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

本書で定義する XML スキーマ(ix08_V08.xsd)の構造を図 1 に示す。



Generated by XmlSpy

www.altova.com

図 1 XMLスキーマの構造

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

3.1 交換用基本情報 (index)

特定健診情報／特定保健指導情報交換用基本情報ファイルのルート要素。種別コードによって、送付元機関(sender)、送付先機関(receiver)に記録する機関番号やオブジェクト識別子が異なる。種別コードに「9:その他」、「13～20:予備」が指定された場合は、送付元機関と送付先機関が識別できないことから、本バージョンではこれらの種別コードには対応しない。

表3に示すとおり、事業者等から保険者へ特定健診結果を送付する場合には、種別コード「6:特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者」を指定し、送付元機関番号には、「5521111111」または「6631111116」を指定する。保険者から保険者へ、異動者の健診結果を送付する場合には、種別コードに「8:保険者から保険者」を指定し、送付元機関番号、送付先機関番号に、送付元保険者番号、送付先保険者番号をそれぞれ指定する。

表3 他の健診結果を送付する場合の設定値

	事業者→保険者	保険者→保険者
種別	6:特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者	8:保険者から保険者
送信元機関番号 OID	1.2.392.200119.6.102	1.2.392.200119.6.101
送信元機関番号	5521111111 または 6631111116	送付元保険者番号
送信先機関番号 OID	1.2.392.200119.6.101	1.2.392.200119.6.101
送信先機関番号	保険者番号	送付先保険者番号
実施区分	1:特定健診情報	1:特定健診情報

また、本規格は、特定健診の結果だけではなく、事業者健診や健康増進法に基づくがん検診といった、他の健診の結果を、事業者や市町村に送付する際にも使用することができる。その場合の、各項目の設定値を表4に示す。

表4 他の健診結果を送付する場合の設定値

	特定健診機関→事業者 ¹	特定健診機関→市町村介護部門	特定健診機関→市町村一般衛生部門
種別	9:その他	9:その他	9:その他
送信元機関番号 OID	1.2.392.200119.6.102	1.2.392.200119.6.102	1.2.392.200119.6.102
送信元機関番号	特定健診・特定保健指導機関番号	特定健診・特定保健指導機関番号	特定健診・特定保健指導機関番号
送信先機関番号 OID	使用しない	1.2.392.200119.6.105	1.2.392.200119.6.105
送信先機関番号	使用しない	全国地方公共団体コード[5]+市町村部門コード(表10)	全国地方公共団体コード[5]+市町村部門コード(表10)
実施区分	4:他の健診結果の受領分	4:他の健診結果の受領分	4:他の健診結果の受領分

¹ 学校保健安全法の対象となる学校の設置者も含む

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

表 5 交換用基本情報 XML 仕様

型名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1	interactionType	要素	1..1	種別
1.1	@code	属性	1..1	種別コード (表 8)
2	creationTime	要素	1..1	(提出用ファイルの) 作成年月日
2.1	@value	属性	1..1	書式: YYYYMMDD (3.2 節参照)
3	sender	要素	1..1	送付元機関
3.1	id	要素	1..1	送付元機関番号 (以下のいずれかを値にとる) 1.1(種別コード)が「1」「6」の場合: 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号: 半角数字 10 桁 1.1(種別コード)が「2」「3」「11」の場合: 代行機関番号: 半角数字 8 桁 1.1(種別コード)が「4」「5」「7」「8」の場合: 保険者番号: 半角数字 8 桁固定 (8 桁に満たない場合は先頭をゼロ埋め)
3.1.1	@root	属性	1..1	送付元機関番号を識別するオブジェクト識別子 (3.3 節及び表 11 参照)
3.1.2	@extension	属性	1..1	送付元機関番号文字列
4	receiver	要素	0..1	送付先機関 1.1(種別コード)が「9」で事業者健診の場合等 送付先機関番号が無い場合には、出現しない。
4.1	id	要素	1..1	送付先機関番号 1.1(種別コード)が「2」「7」の場合: 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号: 半角数字 10 桁 1.1(種別コード)が「1」「4」「5」の場合: 代行機関番号: 半角数字 8 桁 1.1(種別コード)が「3」「6」「8」「11」の場合: 保険者番号: 半角数字 8 桁固定 (8 桁に満たない場合は先頭をゼロ埋め)
4.1.1	@root	属性	1..1	送付先機関番号を識別するオブジェクト識別子 (3.3 節及び表 11 参照)
4.1.2	@extension	属性	1..1	送付先機関番号文字列
5	serviceEventType	要素	1..1	実施区分
5.1	@code	属性	1..1	実施区分 (表 9)
6	totalRecordCount	要素	1..1	総ファイル数 提出用アーカイブファイルの、DATA フォルダ、及び、CLAIMS フォルダ以下のファイル総数 (健診/保健指導結果データファイルと健診/保健指導決済データファイルのみが対象)。
6.1	@value	属性	1..1	整数 8 桁以内

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

3.2 作成年月日

作成年月日を表示する日付型は、以下に示す正規表現で表現される文字列型として定義される。そのため、2月30日や9月31日といった、本来正しくない日付であっても妥当と判断されることに注意する。

表 6 作成年月日 XML 仕様

型名	date	
base	型	説明
xs:string	xs:pattern	正規表現 : $((([1-9][0-9][0-9][0-9])((0[1-9]) (1[0-2]))((([0-2][0-9]) (3[01]))))$

3.3 オブジェクト識別子

オブジェクト識別子情報(OID : Object Identifier)を表す oid 型は、以下の単純型で規定される。本仕様で使用する OID の一覧は、5 節表 11 に示す。

表 7 オブジェクト識別子 XML 仕様

型名	oid	
base	型	説明
xs:string	xs:pattern	正規表現 : $[0-2](¥.(0 [1-9][0-9]*)*)$

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 8 種別コード

コード名	コード	内容	備考
種別コード	1	特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関	請求
	2	代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関	返戻
	3	代行機関から保険者	請求
	4	保険者から代行機関（未決済データの場合）	返戻依頼
	5	保険者から代行機関（決済済データの場合）	過誤請求
	6	特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者	代行機関を介しない場合
	7	保険者から特定健診機関又は特定保健指導機関	
	8	保険者から保険者	
	9	その他	
	10	保険者から国	実績報告
	11	代行機関から保険者へ確認依頼	確認依頼
	12	閲覧用	閲覧用特定健診結果
	13	予備	関係機関からの要望により設定
	14	予備	(検討中)
	15	予備	
	16	予備	
	17	予備	
	18	予備	
	19	予備	
	20	予備	

表 9 実施区分コード

コード名	コード	内容	備考
実施区分コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

表 10 市町村部門コード (本仕様独自コード)

コード名	コード	内容	備考
市町村部門コード	1	市町村介護部門	
	2	市町村一般衛生部門	
	3	介護部門と一般衛生部門を兼務の場合	

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

5. OID 仕様

本 XML で使用する OID の一覧を示す。

表 11 OID 一覧

OID	説明	備考
1. 2. 392. 200119. 6. 101	保険者番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 102	特定健診機関番号／特定保健指導機関番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 103	代行機関番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 105	地方公共団体コード	

6. サンプル XML

特定健診情報／特定保健指導情報交換用基本情報ファイルの XML の例として、下記の内容を示す XML を以下に示す。

表 12 サンプル XML 内容

項目名称	値
種別	1 (特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関)
作成年月日	令和 6 年 5 月 21 日
送付元機関	健診機関番号 1234567890
送付先機関	代行機関番号 12345678
実施区分	1 (特定健診情報)
総ファイル数	100

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<index xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ./XSD/
ix08_V08.xsd">
  <!-- 種別 -->
  <interactionType code="1"/>
  <!-- 作成年月日 (2024年5月21日) -->
  <creationTime value="20240521"/>
  <!-- 送付元機関 (特定健診機関番号 : 1234567890の場合) -->
  <sender>
    <id root="1. 2. 392. 200119. 6. 102" extension="1234567890"/>
  </sender>
  <!-- 送付先機関 (代行機関番号 : 12345678の場合) -->
  <receiver>
    <id root="1. 2. 392. 200119. 6. 103" extension="12345678"/>
  </receiver>
  <!-- 実施区分 -->
  <serviceEventType code="1"/>
  <!-- 総ファイル数 -->
  <totalRecordCount value="100"/>
</index>
```

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班